

プロギングで拾ったゴミがアート作品に ～3,325本の吸い殻がウミガメに。環境への“ハッとする気づき”を形に～

沖縄セルラー電話株式会社(本社:沖縄県那覇市、代表取締役社長:宮倉 康彰、以下 沖縄セルラー)は、ウォーキング・ジョギングをしながらごみを拾う環境活動「プロギング」(注1)により回収されたごみを素材としたアート作品を制作し、2026年3月27日(金)に沖縄セルラー本社ビル1階にて、作品のお披露目会を開催いたしました。

本作品は、2025年11月22日(土)に未来創造協議会が開催した「沖縄クリーンアクション2025」の当社独自のプログラムで実施した、第1回プロギングで回収されたごみを起点として、アーティスト **Fingerpainter Yukako (フィンガーペインター・ユカコ) 氏**(注2)に制作いただいたものです。参加者の一人ひとりの「拾う」という行動そのものをアートとして表現し、環境問題をより身近に捉えるきっかけを創出することを目的としています。



写真: 作品「海と森と街の繋がり」

■アート作品お披露目会 概要

日時: 2026年3月27日(金) 17:00~17:30

場所: 沖縄セルラー電話株式会社 本社ビル1階

■関係者コメント

●企画担当者: 野口優 (沖縄セルラー 経営管理グループ)

「環境問題は大切だと分かっているけど、自分ごとになりにくいテーマです。私自身の育児中の運動不足解消と、会社の健康経営を掛け合わせ、日常の延長で無理なく取り組める『プロギング』を企画しました。活動が終われば見えなくなってしまう『拾う』という行動を、アートとして形に残すことで、その価値を次の環境保全活動へつなげる循環を作りたいと考えました。販売利益の寄付を含め、この循環こそが本企画の意義です。」

●アーティスト: Fingerpainter Yukako (フィンガーペインター・ユカコ) 氏

「作品には1日の活動で回収された3,325本ものタバコの吸い殻を使用しています。制作過程では吸い殻を5回以上洗浄・濾過し、1本ずつハサミでカットして貼り付けるなど、素材と深く向き合いました。ポイ捨てを責めるのではなく、アートを通じて『こんなに落ちていたんだ』という“ハッとする気づき”を届けたい。拾った方々の温かい想いを種まきに見立て、ウミガメの背中から花が咲くイメージで表現しました。」

【報道機関からのお問い合わせ先】

沖縄セルラー 広報担当 auo-kouhou@au-mobile.com / (098) 869-1001

● **取締役執行役員常務：國吉博樹**

「沖縄の最大の魅力は自然であり、私たちの事業もその恩恵の上に成り立っています。完成した作品からは、今にも泳ぎ出しそうな生命力と、制作者・参加者の強い想いを感じます。この作品を本社ビルに展示し、来館される多くの方々に環境保全の重要性を伝えていくとともに、今後も沖縄の美ら海と自然を守る活動に、全社を挙げて取り組んでまいります。」

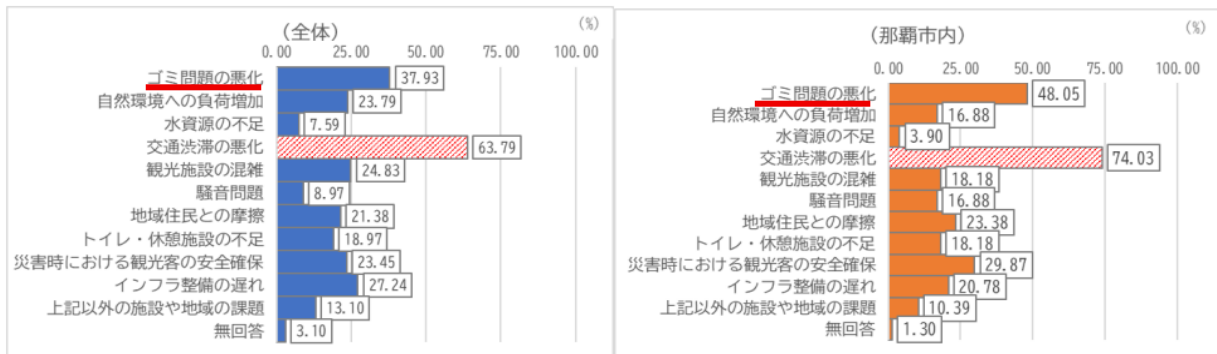


写真：左から國吉博樹 常務/ Fingerpainter Yukako 氏/野口優

■ **取り組みの背景**

沖縄県は観光を基幹産業とする一方で、「持続可能な観光地の形成」や「地域環境の保全」といった課題に直面し、特に那覇市を含む都市部では、観光客の増加に伴い、ごみ問題や景観維持の重要性が高まっています。令和6年度沖縄県観光産業実態調査においても、那覇市では「ごみ問題の悪化」が、地域課題として上位に挙げられています。

《観光客の急激な回復に伴う施設や地域の課題で、重要なもの(3つ選択)》



※出典：令和6年度沖縄県観光産業実態調査報告書

こうした状況の中、環境問題は行政や企業だけの取り組みでは解決が難しく、一人ひとりの行動の積み重ねが社会に与える影響があらためて問われています。

当社では、健康促進と環境美化を同時に実現できる取り組みとして、2025年11月22日（土）に当社社員とその家族が参加する第1回プロギングを実施しました(注3)。

今回のお披露目会では、その活動の中で参加者が実際に拾い集めたごみを素材としたアート作品を公開し、参加者一人ひとりの行動や想いを共有する場としたいと考えています。

■第1回プロギングの概要

- ・実施日：2025年11月22日（土）
- ・内容：ウォーキング・ジョギングをしながらのゴミ拾い活動
- ・回収物の特徴：タバコフィルターを中心とした生活由来のゴミや車のホイール、スケートボードの板など

特に多く回収されたタバコフィルターは、身近でありながら環境への影響が大きく、日常の中で見過ごされがちなおごみの一つです。本作品では、こうしたごみを主な素材としています。

■アート作品について

本作品は、第1回プロギング参加者が回収したごみ（主にタバコフィルター）を素材として、Fingerpainter Yukako氏により制作されました。

プロギングを通じて集められたごみが、アーティストの手によって一つの作品として表現されています。

■作品の販売・寄付について

本アート作品については、販売を通じて得られた利益を環境保護活動へ寄付することを理想形として検討しています。

販売方法や寄付先は現時点では未定ですが、作品から生まれた価値を次の環境保全活動へとつなげる循環を目指しています。

なお、本取り組みは作品の販売自体を目的とするものではなく、環境を守ることの大切さを社会に伝えることを主眼としています。

本アート作品の購入をご希望される方は、沖縄セルラー広報までお問い合わせください。販売価格は【税込150,000円】を予定しています。

■今後の展開

当社では、本取り組みを継続的な活動としていくため、当社社員及びその家族を対象に、第2回プロギングを2026年4月18日（土）に実施予定です。

なお、第2回プロギングについては、現時点ではアート作品の制作は予定しておらず、まずは環境美化と健康促進を目的とした活動として実施する予定です。

■本件に関するお問い合わせ先

沖縄セルラー電話株式会社
広報担当 TEL：098-869-1001

以上

<別紙>

1. 第1回プロギングの様子



2. アート作品制作の様子



(注1) プロギング (Plogging) とは、ジョギングとごみ拾いを組み合わせたスウェーデン発祥の活動です。運動による健康増進と環境美化を同時に行えることから、世界各地で注目されています。

(注2) Fingerpainter Yukako 氏 公式サイト
<https://fingerpainter-yukako.jimdofree.com/>

(注3) 第1回プロギングは、「沖縄クリーンアクション 2025」内の当社独自プログラムとして実施しました。

以 上